

災害時における公共交通情報システムのあり方に関する検討委員会
第4回委員会 議事概要

日時：平成19年6月28日（木） 10：00～12：00
場所：中央合同庁舎2号館 低層棟1階 共用会議室3

[議事要旨]

1. 議題1

事務局より「災害時における公共交通情報システム」実証実験【1次】の実施結果について説明があり、公共交通情報の表現の統一感の向上、情報提示のリアルタイム性改善、復旧・遅延解消の予定時刻提供が課題として指摘された。

報道機関側からは、取材・報道の立場で考えてみて、情報提供フォーマットや情報発信のリアルタイム性が改善されないと情報を利用できないという認識が示された。また、表現の統一感やリアルタイム性の現状は、エンドユーザ向けとしては、まだ課題が大きいという指摘があった。

コンテンツプロバイダ側からは、情報の正確性・詳しさ以上に情報の早さを重視して欲しいという意見が提示された。

表現の統一感向上と予定時刻提供については「長期的課題として継続的に取り組む」という方針が提示されているが、リアルタイム性改善については今後の方向性が示されていないため、資料1の8ページと9ページの間に「公共交通情報システムのリアルタイム性」に関するページを追加し、アンケート調査のご指摘と今後の長期的検討の方針を銘記することとした。

上記の追加ページについて事務局で早急に原案を作成し、委員各位に確認依頼することを条件として、議題1が承認された。

2. 議題2

事務局より「災害時における公共交通情報システム」実証実験の今後の進め方について説明があり、委員により承認された。

実証実験の1ヶ月延長については、今回の実験期間中に大規模な運行（航）障害事例が発生せず、本来の主旨に沿った機能が発揮できるかの検証ができなかったための措置であり、引き続き意見集約等を続けていくので協力いただきたいという提案が事務局からあり、委員から了承された。

実証実験【2次】に向けて何が改善されるのかということについては、事務局より、各交通モードの事業者団体で積極的な議論を始めていただき、時間

的に間に合うものがあれば取り込んでいくという方針が提示されて了承された。

3. 議題3

事務局より中間とりまとめ案について説明があり、その内容が委員によって承認された。

4. その他

事務局より、委員会形式での実施は今回が最後になるかも知れないが、電子メールまたは集合会議により実質的な調整はさらに継続し、最終取りまとめに繋いでいく考えであることが提示され、委員によって了承された。

以上